

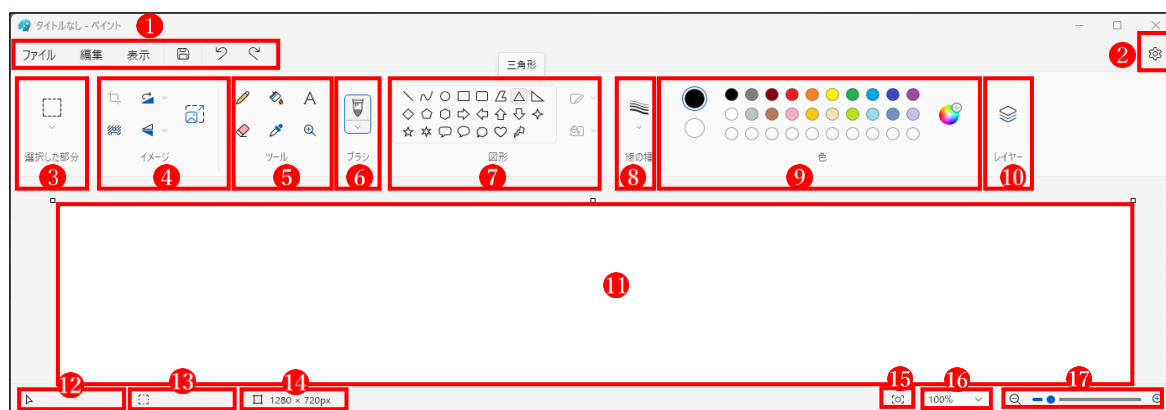
「ペイント」アプリで「オバケのQ太郎」を描いてみよう

Windows11 に搭載されている「ペイント」アプリに、「背景の削除」や「レイヤー機能」が追加され、以前より大幅に使い勝手が向上しました。ここでは、主に図形ツールと塗りつぶしツールを使って、おなじみのキャラクターのイラストを描いてみましょう。

1 新ペイントの画面構成

新ペイントの画面構成は、新しい機能が追加されたこともあり、従来のものからかなり変更されています。

<各部の名称と機能>

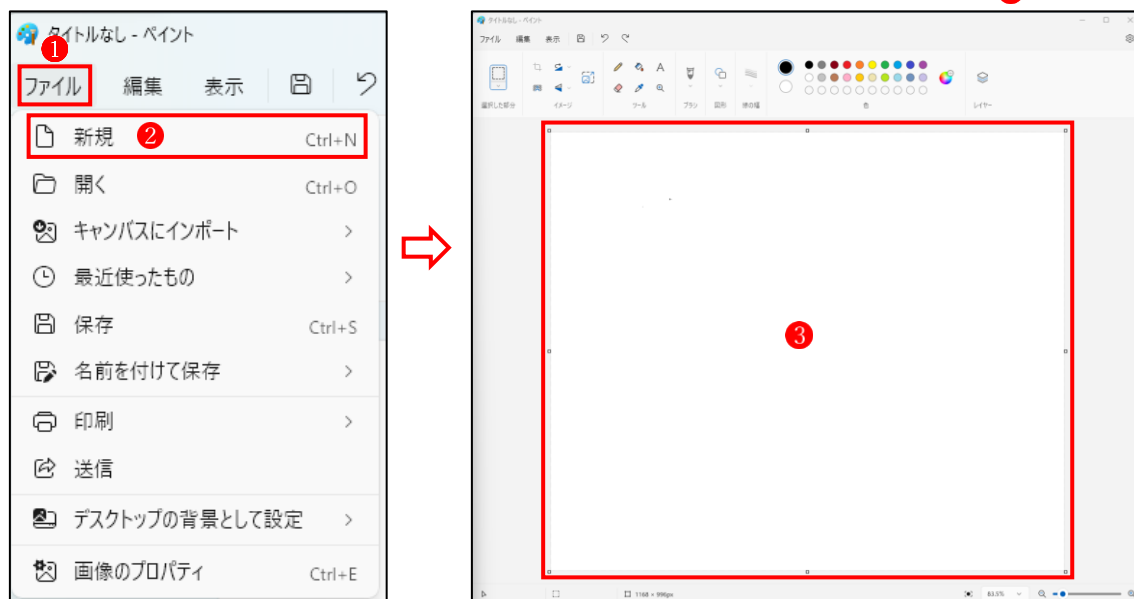


- ① メニュータブとクイックアクセスツールバー
- ② 設定 画面モード（ライト・ダーク・システム設定）を選択できます。
- ③ 選択した部分 画面の一部や透明部分を選択するためのツールです。
- ④ イメージ 画像の編集に使用できるツールが5つ用意されています。
- ⑤ ツール テキスト作成や塗りつぶし、消しゴムなどのツールが用意されています。
- ⑥ ブラシ 9種類のブラシが用意されています。
- ⑦ 図形 23種類の図形が作成できます。
- ⑧ 線の幅 4種類の線の幅が用意されています。
- ⑨ 色 あらかじめ用意されている色から選択でき、自分の好きな色を作成することもできます。
- ⑩ レイヤー レイヤーの追加、レイヤーの統合などのレイヤー機能が使えます。
- ⑪ キャンバス 画像の編集をしたり、図形や絵を描画する場所です。
- ⑫ 座標表示 マウスポインターのある位置を表示します。
- ⑬ 選択範囲 選択ツールで選択している範囲を表示します。
- ⑭ キャンバスサイズ キャンバスのサイズを表示します。
- ⑮ ウィンドウに合わせる キャンバスをウィンドウに合わせて拡大・縮小します。
- ⑯ キャンバスのサイズを数値で拡大・縮小します。
- ⑰ キャンバスのサイズをスライダーをドラッグして拡大・縮小します。

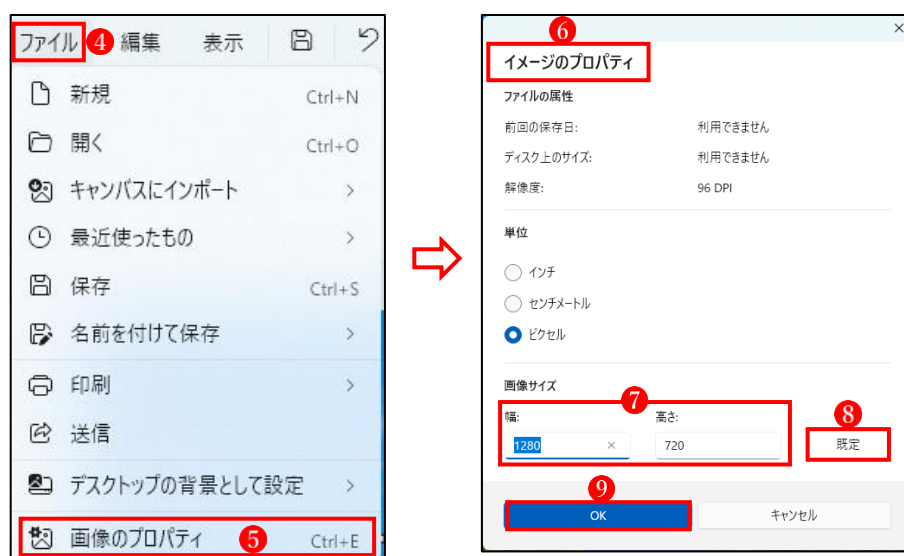
2 ペイントの基本的な使い方

(1) キャンバスのサイズを設定する

- ① 「ファイル」タブ①から「新規」②をクリックします。キャンバスが開きます③。



- ② 「ファイル」タブ④から「画像のプロパティ」⑤をクリックします。
→「イメージのプロパティ」ウィンドウ⑥が開きます。



- ③ キャンバスのサイズを変更したいときは、「幅」と「高さ」⑦の数値(px)を変更します。
ここで「既定」⑧のボタンをクリックすると、ディスプレイの解像度に応じたサイズが設定されます（※解像度 1920×1080px の場合は 1152×648px になります）。
最後に「OK」⑨をクリックするとキャンバスサイズが変更されます。次回、「ファイル」→「新規」をクリックすると、ここで設定したキャンバスサイズで開くようになります。

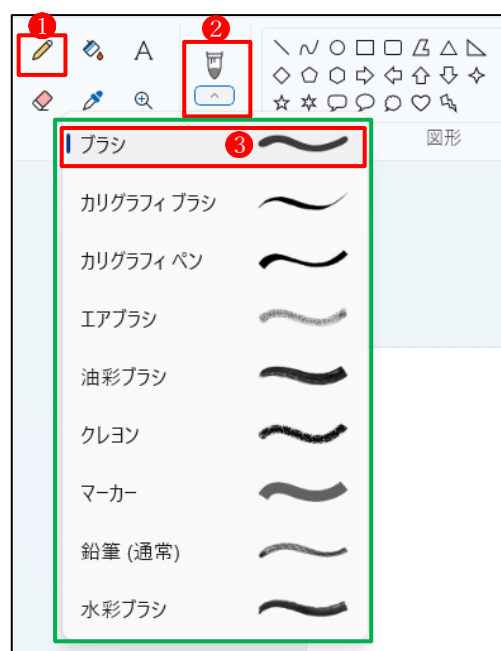
☆ ここでは、既定の「1152×648」(px)に設定しておきましょう。
キャンバスのサイズは後から自由に変更できます。

(2) 「ブラシ」ツールの使い方

自由な線を描くには、「鉛筆」ツール①と「ブラシ」ツール②を使いますが、ここでは、主に「ブラシ」ツールを使います。

① ブラシの種類

ブラシには9つの種類がありますが、ここでは「ブラシ」③を使います。



② ブラシの色の設定

- ・デフォルトでは「色1」①には「黒」、
「色2」②には「白」が設定されています。



・ブラシの色の変更

ブラシの色を変更するには、「色1」または「色2」をクリックして選択してから、右側にある色の一覧から設定したい色をクリックします。



☆ ここでは、「色1」③に「緑」、「色2」④に「黄色」を設定しています。

☆ 「色の編集」⑤をクリックすると、自分の好きな色を自由に作ることができます。

・ブラシの色の選択方法

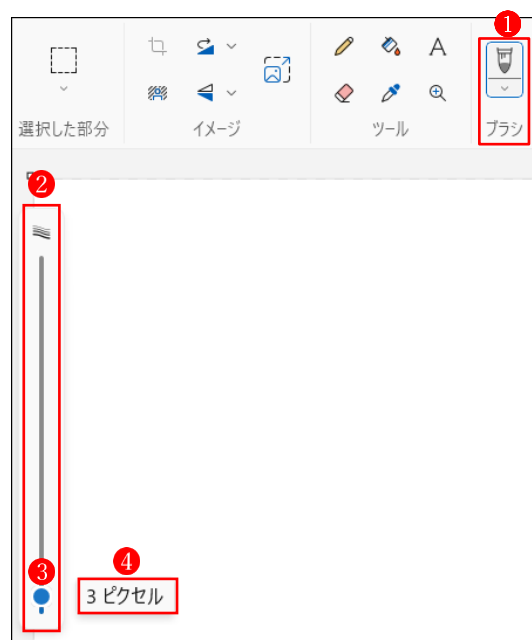
ブラシの色は、「色1」と「色2」を使い分けることができます。

「色1」を使いたいときは「左クリック」で、「色2」を使いたいときは「右クリック」でドラッグして使います。

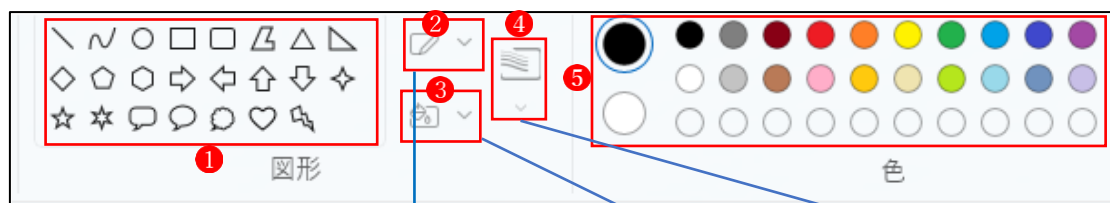
☆ 上記の設定では、左クリックでドラッグすると緑色で線が描かれ、右クリックでドラッグすると黄色で線が描かれます。

③ ブラシの線の太さの設定

- ・ブラシツール①をクリックすると、画面の左サイドにブラシの線の太さを設定するためのスライダー②が表示され、スライダーの丸いボタン③にマウスポインターを合わせると、傍らに現在の太さ④が表示されます。
- ・線の太さを変えるには、③のボタンを上下にスライドさせて決定します。

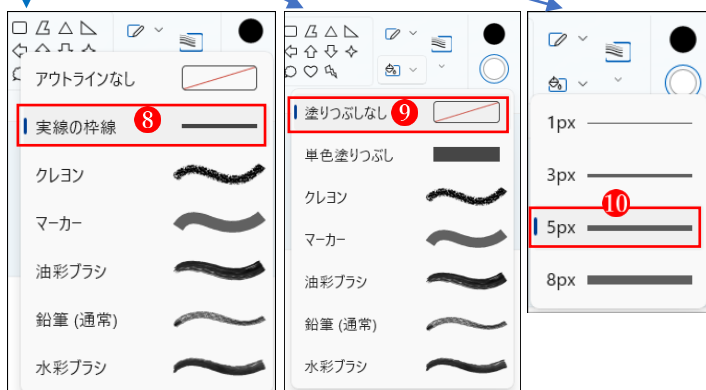


(3) 「図形」ツールの使い方



① 図形の種類

- ・図形の種類①は、あらかじめ23種類用意されています。
- ・図形を描くには、使いたい図形を選択してから、キャンバスの上でドラッグします。



② 枠線の設定

「枠線」②は、デフォルトでは「実線の枠線」⑧が設定されています。

③ 塗りつぶしの設定

直線と曲線は枠線のみですが、それ以外の図形は枠線のほかに塗りつぶしも設定できます。

「塗りつぶし」③は、デフォルトでは「塗りつぶしなし」⑨が設定されています。

(※塗りつぶしは後で実行することもできます。)

④ 線の幅の設定

「線の幅」④は、4種類の太さから選択できます。デフォルトでは「5px」⑩に設定されています。

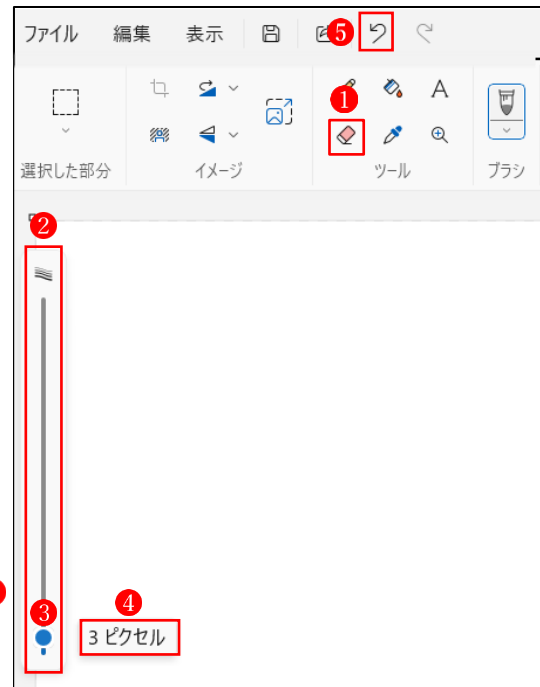
⑤ 色の設定

色の設定方法は、「ブラシの色の設定」の方法と同じです。「色1」を使いたいときは「左クリック」、「色2」を使いたいときは「右クリック」でドラッグして使います。

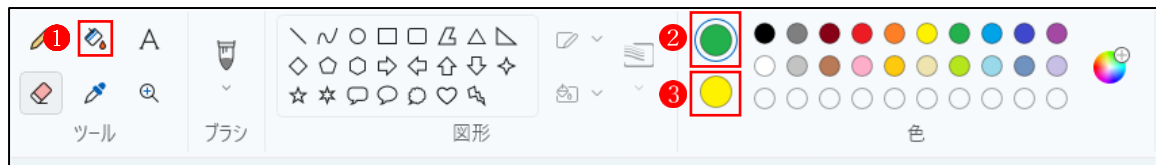
(4) 消しゴムツールの使い方

「消しゴムツール」で、オブジェクトの上をなぞるとその部分を消すことができます。消しゴムの幅を設定して使います。

- ・「消しゴムツール」①をクリックすると、画面の左サイドに消しゴムの太さを設定するためのスライダー②が表示され、さらにスライダーの丸いボタン③にマウスポインターを合わせると、傍らに現在の幅④が表示されます。
- ・幅を変えるには、③のボタンを上下にスライドさせて決定します。
- ・消しゴムツールを使って不要な部分を消す際に、余計に消し過ぎた場合は、「元に戻す」ボタン⑤（または Ctrl+Z ）でやり直します。



(5) 塗りつぶしツールの使い方



① 塗りつぶす色の設定

塗りつぶす色の設定方法は、「ブラシの色の設定」の方法と同じです。

② 塗りつぶす方法

「塗りつぶしツール」①をクリックして選択し、オブジェクトの「線で囲まれた部分」をクリックします。この時、左クリックをすると「色 1」②に設定した色で、右クリックをすると「色 2」③に設定した色で塗りつぶされます。

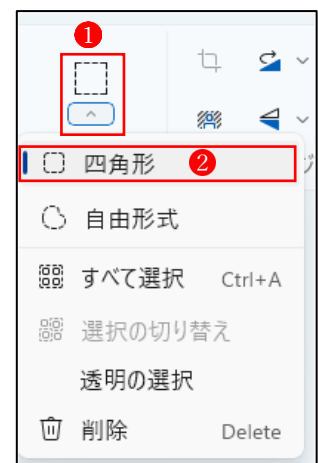
☆ 塗りつぶされるのは「線で囲まれた部分」なので、囲まれた部分に少しでも隙間があると、きれいに塗りつぶされないで、注意しましょう。

(6) 選択ツールの使い方

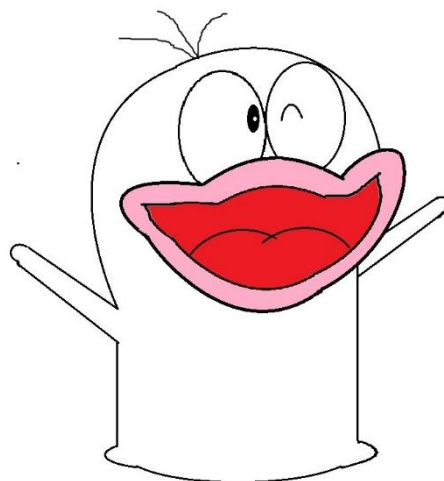
図形ツールで作成したオブジェクトは、編集では自由に移動できますが、一度オブジェクト以外の場所をクリックして編集を完了すると、その後は移動できなくなります。

しかし、移動させたいオブジェクトを「選択ツール」①でドラッグして囲むと、囲んだ部分のオブジェクトを再び移動できるようになります。

選択する形は、デフォルトでは「四角形」②に設定されています。



- 3 「オバケの Q 太郎」のイラストを作成する
ブラシツール、図形ツール、消しゴムツール、塗りつぶしツールなどを駆使して、「オバケの Q 太郎」のイラストを作成してみましょう。

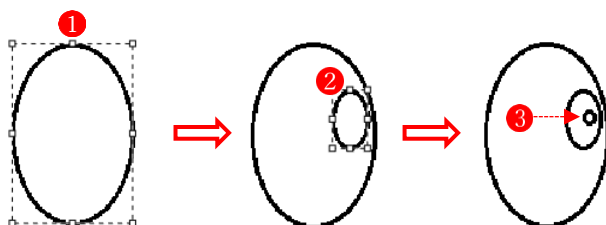


(1) 輪郭線を作成する

まずは輪郭線だけのイラストを作成します。ブラシと図形の輪郭線は、「黒色」、「太さ 3px)」で描きましょう。

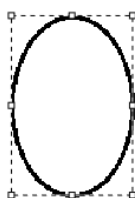
① 右目の部分を描きます。

- ・右目は図形グループの「楕円」を3個重ねて作成します。

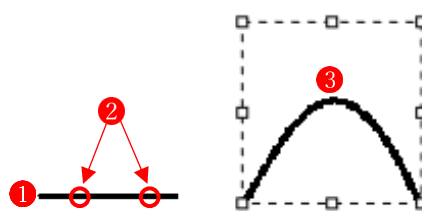


② 左目は、「楕円」と「曲線」を使って描きます。

- ・楕円を1つ描きます。

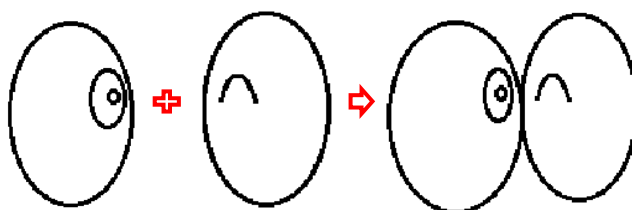


- ・ウィンクしている部分は、まず、「曲線」で横にまっすぐ線を引きます①。次に、線の「○」②の部分を上へドラッグして曲線の形にします③。



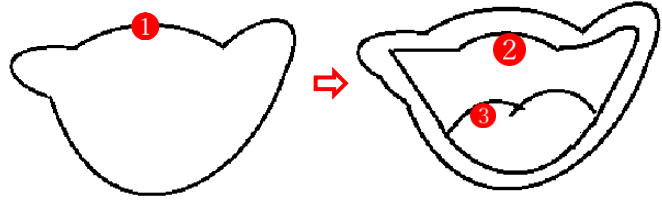
※「○」でドラッグできるのは2か所のみなので、上手に調整して希望の形に仕上げます。

- ・右目と左目を並べて、目の部分の完成です。



- ③ 口の部分は、「曲線」を複数組み合わせさせて作成します。

- ・図形の「曲線」で唇の外回りの輪郭を描きます①。
- ・唇の内側の輪郭を描きます②。
うまく輪郭が描けないところは、「消しゴム」と「ブラシ」を使って補正します。
- ・「曲線」を使って舌の部分を描きます③。



- ④ 頭の輪郭は「曲線」を組み合わせ描き、不要な部分は「消しゴム」で消します。



- ⑤ 頭と顔の部分を合成します。

- ・各パーツは、選択ツールで四角形にドラッグして選択すると、自由に移動することができます。
- ・不要な線は「消しゴム」で綺麗に消し去り、足りない部分は「ブラシ」で書き足します。
- ・最後に、「ブラシ」で3本の髪の毛を追加します。



- ⑥ 手の部分は「直線」と「曲線」（または「ブラシ」）を使って描きます。

- ⑦ 胴の部分は「直線」を使って描きます。

- ⑧ 足の部分は「曲線」を3個組み合わせさせて作ります。

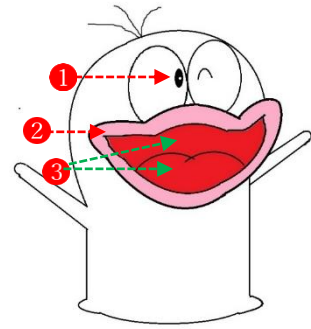
☆ 図形ツールは、編集時は自由に移動ができますが、編集途中で図形以外の部分をクリックすると、その図形は確定状態になり、その後は移動ができなくなります。しかし、その図形を「選択ツール」でドラッグして選択し直すと、選択した部分だけが移動できるようになるので、上手く使いこなしましょう。また、「元に戻る」ボタンも一緒に活用しましょう。

(2) 塗りつぶしをする

塗りつぶしは、輪郭をすべて作成し終えてから行います。

- ① 右目の部分の2つ目の楕円を「黒」で塗りつぶします①。
- ② 唇の部分「ピンク」で塗りつぶします②。
- ③ 口の中の部分を「赤」で塗りつぶします③。

☆ 線と線の間に隙間があるとうまく塗りつぶしができないので、注意します。



(3) 画像として保存する

イラストができあがったら、「トリミングツール」を使って適当なサイズに切り抜き、画像として保存しましょう。

- ① 「トリミングツール」を使って適当なサイズに切り抜きます。
- ② 「名前を付けて保存」で「.jpg」ファイルとして保存します。
- ③ 「背景の削除」を使って背景を透明にし、「名前を付けて保存」で「.png」ファイルとして保存します。

☆ ペイントアプリには、「画像の編集状態を保存する機能がない」ので、制作した作品は必ず画像ファイルとして保存しておきます。

☆ Windows10 のペイントアプリには「背景の削除」機能がありませんので、その場合は、新しい「フォトアプリ」を使って背景を削除しましょう。

4 「ドラえもん」のイラストを作成する

「オバケの Q 太郎」が描けるようになったら、「ドラえもんのイラスト」にもチャレンジしてみましょう。

- ・こちらは、「オバケの Q 太郎」で使った図形ツールのほかに「ハート形」や「角丸四角形」も活用しています。
- ・輪郭が複雑になっているので、「オバケの Q 太郎」よりも骨が折れますが、不要な輪郭線を消しゴムツールで丁寧に消すことがきれいなイラストを描くポイントです。

